

第56回日本神経眼科学会総会

ランチョンセミナー3

日時▶2018年12月15日(土) 12:30~13:30

会場▶第1会場(神戸国際会議場 メインホール)

画像診断 アップデートセミナー

～広角眼底画像と360度隅角カラー撮影画像の有効利用～

座長のことば

視力低下や視野障害などの要因としてあらゆる疾患が関わっていることが多くありますが、早期段階でその要因を追求するのは容易ではありません。しかしながら、近年の画像診断機器で取得した画像を活用することで、早期での診断が可能になり治療を開始することができるようになるのではないかと考えています。

今回のランチョンセミナーでは、それらで取得した画像をどのように網膜疾患と緑内障における診断に取り入れるか、2人の先生に講演いただき理解を深めていきたいと思えます。まず、園田先生(鹿児島大学)には広域に眼底の状態を確認できる広角眼底画像を用いた網膜疾患診断について、次に、三嶋先生(関東中央病院)には、初めてカラー画像が取得できるようになった隅角検査を用いて、どのように診断に結びつけるか、それぞれ多くの症例を用いてお話しいただきます。

さまざまな画像をどう活用するか、明日からの診療に役立つ話が聞けるものと楽しみにしています。あわせて多くの先生方のご来場をお待ちしています。



座長

Makoto Aihara

相原 一先生

東京大学大学院医学系研究科
外科学専攻眼科学 教授

広角眼底画像を活用した、 網膜疾患画像診断

園田 祥三先生 鹿児島大学医学部眼科学教室 講師



演者

Shozo Sonoda

緑内障における隅角検査画像

三嶋 弘一先生 関東中央病院眼科 部長



演者

Kouichi Mishima



第56回日本神経眼科学会総会参加には、
参加登録が必要です。

共催:第56回日本神経眼科学会総会/株式会社ニデック